



夜間開館のお知らせ

毎週水曜日は、夜間開館日です。
夜8時まで開館しています。

今月の一冊



かんき出版

「ヨイヨワネ うつぶせ編」
ヨシタケ シンスケ著／筑摩書房

ヨイヨワネは「良い弱音」のこと。やりたくない、疲れた、もうムリだ…誰かの弱音に共感して気持ちが救われたり、しんどさを受け容れて、また明日を生きようと思えるかもしれません。日々に疲れている人に読んでほしい1冊。同時刊行「あおむけ編」あり。

みんなの広場

ぼくとわたしの

夢

新冠小学校6年生です



ぼくの夢は、ゲームプログラマーです。理由は、プログラミングが好きだからです。

田村 康喜



将来の夢は、バドミントン選手になることです。今から練習を頑張って、世界一位の選手になりたいです。

近澤 好希



将来の夢は、動物園の飼育員の仕事に就くことです。動物が好きで動物を育てたいし、仲良くしたいからです！

千葉 緑玲愛

アニマル号（移動図書館車）運行日程

10月29日	15:00～15:30	新冠小学校
	16:00～16:30	認定こども園ド・レ・ミ
	16:40～17:00	町民センター前（児童館）
11月6日	11:00～11:15	太陽郵便局
12日	12:50～13:20	認定こども園ド・レ・ミ
	15:00～15:30	新冠小学校
	16:40～17:00	町民センター前（児童館）
13日	10:05～10:20	新冠小学校
	10:50～11:05	おうるの郷
	12:15～12:30	子ども発達支援センター
14日	12:45～13:10	新冠中学校
19日	15:00～15:30	新冠小学校
	16:00～16:30	認定こども園ド・レ・ミ
	16:40～17:00	町民センター前（児童館）
12月3日	12:50～13:20	認定こども園ド・レ・ミ
	15:00～15:30	新冠小学校
	16:40～17:00	町民センター前（児童館）

びっくり箱のおはなし会

定例読み聞かせ（毎月第4土曜日開催）

10月25日（土）10:30～、11月22日（土）10:30～

赤ちゃんの絵本の読み聞かせ（毎月第4水曜日開催）

11月26日（水）10:30～

主催 読み聞かせの会「びっくり箱」

場所 図書プラザ おはなしのへや

新着ガイド

眠れなくなるほど面白い北海道の話	和田 哲
世にもふしぎな法律図鑑	中村 真
老いた親の様子に「アレ？」と思ったら	工藤 広伸
つながり続けるこども食堂	湯浅 誠
スマホ時代の「眼」メンテナンス	栗原 大智
人類5000年の名建築をめぐる旅	二階 さちえ
海上自衛隊潜水艦最強ファイル	オオカミ少佐
焚き火メシの本	松倉 広平
路面電車で楽しむレトロな小旅行	杉崎 行恭
70歳からの脳に効く花のおりがみ	たかはし なな
簡単デザイン文字	OSONO
演奏会を成功させる「舞台の作法」	賀内 隆弘
職人騎手	熊沢 重文
大谷翔平のバッティング解剖図鑑	立花 龍司
父が牛飼いにになった理由	河崎 秋子
紅色の幻（おいち不思議がたり 7）	あさの あつこ
クロエとオオエ	有川 ひろ
皆のあらばしり	乗代 雄介
君が眠りにつくまえに	水沢 秋生
百年の時効	伏尾 美紀

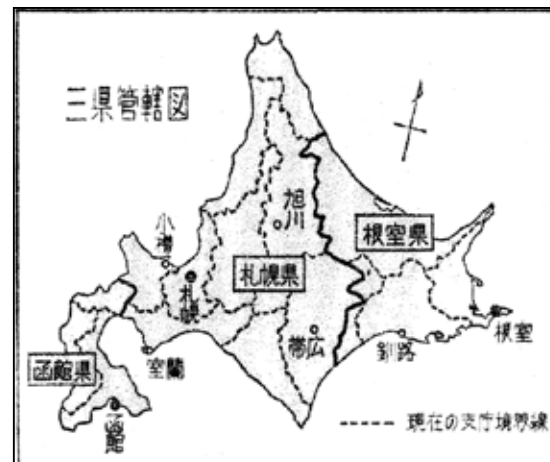
2025 イルミネーションフェスタ＆びっくり箱の冬のお楽しみ会

毎年ご好評をいただいております、「イルミネーションフェスタ」。今年は12月6日（土）に開催します。イルミネーション点灯式やお菓子まきなど、レ・コード館内では盛沢山のイベントを行います。

また、子ども達に大人気の「びっくり箱の冬のお楽しみ会」。今年もワクワクドキドキの公演をご用意。たくさんのご来場をお待ちしております。詳しくは後日配布のチラシをご覧ください。

●問い合わせ先 レ・コード館図書プラザ ☎0146・45・7777

黒田清隆
開拓使長官
第2代首相



三県一局当時の北海道
明治15年（1882）2月～明治19年（1886）1月

ふるさと探究 第16回

『三県一局時代と新冠』

明治7年（一八七四）、開拓使長官の黒田清隆（薩摩藩出身）は全国の旧士族の生活を救済するために屯田兵制度を創設するとともに本州からの開拓移民を奨励しました。明治15年（一八八二）2月から三県一局（函館・札幌・根室県、農商務省北海道事業管理局）による北海道統治となります。県令と局長は薩摩藩出身で、日高国は札幌県に属し、調所広丈が県令でした。しかし分治行政は円滑に進ま

ず、明治19年1月に北海道庁を設置して行政を統治し、今日に至ることになります。新冠では明治14年（一八八二）9月に新冠郡各村戸長役場として静内郡から独立しました。明治18年10月には日新小学校（現新冠小学校・本町多目的交流センター付近）に開設します。校名の由来は沿革誌に記されておらず不明です。最初の校舎は20坪程度で児童は数名だったようです。（乾 芳宏）